

宇治市教育委員会定例会会議録

日 時 平成28年9月13日(火) 午後5時30分 開議

場 所 宇治市役所 602会議室

会 議 日 程

- 日程第1 会議録署名委員の指名について
日程第2 会期について
日程第3 教育長報告
日程第4 報告第11号 専決事項の報告について

会議に付した事項 会議日程に同じ

出席者

(教育委員)

委 員 長	西野正博
委員長職務代理者	金丸公一
委 員	中筋斉子
委 員	小山栄子
委員(教育長)	石田 肇

(出席職員職氏名)

部 長	澤畑信広	副 部 長	伊賀和彦
参事(生涯学習課長兼生涯学習センター所長)	藤原千鶴	教育支援センター長	瀬野克幸
教育総務課長	縄手弘	学校教育課長	井上宜久
源氏物語ミュージアム館長兼歴史資料館長	西澤久美子	中央図書館長	安田美樹
教育総務課副課長	須原隆之	学校教育課副課長	三村 敦
生涯学習課副課長	今莊真樹	生涯学習課主幹	前田 暢
中央図書館主幹	嶋田ゆみ	歴史資料館主幹	小嶋正亮

(書記職員職氏名)

教育総務課企画庶務係長	上田ひとみ	教育総務課主任	高木紗代子
-------------	-------	---------	-------

開 会 (午後5時30分)

開会宣言 委員長が9月教育委員会定例会の開会を宣言する。

日程第1 会議録署名委員の指名について

委員長から宇治市教育委員会会議規則第13条第3項の規定により、小山委員を指名する。

日程第2 会期について

委員長から1日限りとする旨の提案があり、全会一致で決定する。

日程第3 教育長報告

- (1) 文教福祉常任委員会について(平成28年9月7日)
- (2) 平成29年度宇治市立笠取小学校特認入学希望者の募集について
- (3) 「第26回紫式部市民文化賞」受賞作品の決定について
- (4) 宇治市歴史資料館 特別展について
- (5) 「要望書」等について
- (6) 宇治市教育委員会後援事業について

以上6件を報告する。

[説明]

(1) 文教福祉常任委員会について(平成28年9月7日)

車両事故に係る専決処分の報告について

4月18日の定例教育委員会にて、車両事故に係る専決処分の報告(物損部分)について報告をしたが、この度、同事故にかかる人身部分の示談が成立した事により専決処分の報告をしたものである。

宇治市図書館市民ニーズ調査集計結果等について

山崎委員より、「市民ニーズ調査の結果について、重要点や問題点、改善点は何か」という質問があった。これについて、「全ての人が利用しやすい図書館づくりが、重要事項である事。また、図書館へのアクセスが悪いことやサービスの周知不足を問題点として、今後は利便性の向上と広報の強化に努めていく」と答弁した。

また、「図書館事業計画は誰が作るのか」との質問に対しては、「全国の動向について情報が豊富で、この計画のノウハウを持つ民間のコンサルを活用したい」と答弁した。さらに、「先進的な図書館は、図書の貸出だけでなく、学習の場としてあらゆる取組を行っており、これらを参考に検討してほしい」との要望があった。

浅井委員より、「開館時間の延長はせめて19時までとして欲しかったが、なぜ18

時までとしたのか」と質問があった。それについては、「府内の図書館の多くが閉館時間を18時としている事、本市の図書館における立地条件や夜間の周辺環境を考慮して18時とした」と答弁した。また、「図書館事業計画の策定に向けては、市民団体や関係者が一堂に会し、意見を出せる会議を作るべきである」との意見があった。

中村委員より、「市民ニーズ調査では、60歳以上の回答が多いため、若い世代の意見をさらに聞く必要があり、今後はインターネット活用など新たな手法を考えるように」との要望があった。また、図書館に行く必要を感じないとの回答や、CDやDVDの視聴スペースや学習室、カフェを希望する意見など、図書館利用に求めるものが変わってきていることについて質問され、「今回の調査では、様々なニーズがあることが分かったが、スペース面の制約等があり、直ちにに応じていくことは難しく、アセットマネジメントの推移を見据えて検討していきたい」と答弁をした。

最後に宮本委員より、「図書館の最近の事業展開に努力は感じるが、基本的運営方針や事業計画の策定はもっとスピード感を持ってやるべきであり、また、公共図書館がどうあるべきなのかは、民間のコンサル任せでなく、自ら考えるものである事。さらには、今後の図書館のあり方について、アセットマネジメントを見据えてとの答弁があったが、教育委員会として、図書館はどうあるべきかを考えて発信すべきである」という主旨の意見があり、これについての見解を問われた。これについては、「事業計画策定の基本的な考え方は内部で議論し、必要な部分のみをコンサルのノウハウで活用していきたいと考えており、また、生涯学習審議会等の意見も受け、しっかりと考えていきたい」と答弁をした。

他に、「図書館は、行政資料や郷土資料等をしっかり揃えることが重要であり、市民が情報を知る場所となるように」といった要望があった。

中学校昼食提供事業アンケート調査について

9月7日開催の文教福祉常任委員会の日程にはなかったが、添付資料の新聞記事を踏まえ、委員長の許可を得て、委員から現在の状況などについて質疑等の発言があったものである。

当該アンケートについては、中学校昼食提供事業の総括に向け、全校・全学年及び保護者全員に対し、1学期末に配布・回収を行い、現在集計作業に入っているところである。内容は、これまで実施しているアンケート項目を踏まえつつ、報道にあるように中学校における給食についての設問を設けるなど一部内容を精査しており、アンケートの集約の後に、事業の総括に向けて文教福祉常任委員会への報告を検討しているところである。

認定こども園への移行等に関する意向調査の実施について

平成28年4月26日付、京都府からの依頼により、宇治市内の民間保育所を運営している社会福祉法人及び私立幼稚園を運営している学校法人に対し、それぞれ保育支援課及び教育総務課から認定こども園への移行等に関する意向調査を実施した。

社会福祉法人からの回答は、幼保連携型認定子ども園に移行する予定であるとの回答のうち、移行予定時期について平成29年4月からと回答したのは2法人2施設、うち1法人1施設が京都府への認可申請を行ったところである。認可申請を行ったのは、社会福祉法人心華会ひいらぎ保育園で、残る1法人1施設は、認可申請を行わなかった。また、移行予定時期を平成30年度以降と回答したのは、1法人1施設である。

なお、学校法人からの回答は、認定子ども園への移行について、その意向を示す法人はなかった。

[質 疑]

[委 員] 認定子ども園への移行等に関する意向調査の実施について、平成29年4月から移行と回答のあった1法人1施設は許可申請中で、もう1法人は、申請していないとの事であったが、間に合うのか。

[事務局] 法人内部で検討された結果、申請しないという事で決定された。移行されないという事である。

(2) 平成29年度宇治市立笠取小学校特認入学希望者の募集について

募集人数は、新1年生に限り4名を募集し、応募者が多い場合は抽選となる。応募資格は、宇治市内に居住している就学予定者(新一年生)であること。募集期間については平成28年10月26日(水)から11月22日(火)である。募集にあたり授業参観、学校見学等の学校説明会を、10月26日(水)に笠取小学校にて実施する。応募方法・抽選方法については、資料に記載のとおりで、入学の決定については平成29年1月中旬に通知をする予定である。

平成28年9月1日現在の児童数は、地元児童と特認制度入学児童を合計すると18名である。なお、来年度に在学する地元児童は、3名を予定している。

(3) 「第26回紫式部市民文化賞」受賞作品の決定について

紫式部市民文化賞受賞作品は、小野利子(おのとしこ)氏の随筆『つれづれの記』である。

選考委員特別賞は宇治民話の会(うじみんわのかい)の民話『この子らのために2(だいにしゅう) 宇治山城で聞いた戦争の話』である。

なお、応募作品は50件だった。また、贈呈式は紫式部文学賞と合わせて平成28年11月20日(日)に宇治市文化センターで開催される。

(4) 宇治市歴史資料館 特別展について

JR奈良線が全線開通したのは、明治29年(西暦1896年) 今から120年前である。それを記念し、今年の特別展は「進め!!奈良鉄道」をテーマに開催する。

タイトルに「奈良鉄道」という言葉を採用したのは、奈良線が元奈良鉄道という会社が開通させたことをまず市民に知ってもらい、その驚きや発見を入り口に、わが街宇治の近代の歴史に思いをはせてもらう趣旨である。

奈良線は大正10年（西暦1921年）に一部移動があり、現在の路線が確定した。展覧会では、奈良鉄道開通前から現在の路線に確定するまでの明治初期から大正後期までの約60年間の歩みをさまざまな資料から紹介している。

会期は10月1日（土）から11月20日（日）月曜日休館（なお、10月10日体育の日は開館）、開館日数は45日間。併せて宇治に関するビジュアルな歴史書として好評の展覧会図録も作成、販売している。期間中には、記念講演会や歴史講座を、展覧会に関連したテーマで開催する。

（５）「要望書」等について

公益社団法人 日本理科教育振興協会より「平成29年度理科教育設備整備費等補助金予算増額計上」についての要望があった。

内容は、理科教育での観察・実験を充実させるために、理科教育設備整備等の予算の増額、観察・実験に伴う設備器具や消耗品費の確保、実験準備・後片付けなどの現場教師の負担軽減等である。

（６）宇治市教育委員会後援事業について

公益財団法人宇治市公園公社主催の「幼稚園・小学校・中学校音楽フェスティバル」他7件、計8件の事業について後援した。

[質 疑]

[委 員] 笠取小学校の特認入学者希望者数は4名限定、多い時には抽選になるのは、学校の規模など何か理由があるのか。

[事務局] 学校規模については、京都府が定める学校の設置基準により、現在、1年生、2年生、3年生と4年生の1クラス、5年生と6年生の1クラスの4学級となっている。複式学級2つを維持するにあたり、児童数合計が24人以下である必要がある。年度途中の転入の可能性も考慮し、年度当初の児童数を20人に近づける規模で考えると、学校との相談の中で来年度の募集は4名が望ましいという事になった。

[委 員] 年度によって募集人数が変わるという事か。

[事務局] 定員を24名と考えると、単純に一学年4名となるが、毎年定員に達する応募があるわけではない。20名に達するために、仮には6・7名募集といった一学年に偏った児童数を設けると、学級編成にも影響がある。一学年だけ多いのは、できるだけ避ける必要がある。

そういった事も踏まえ、現在2年生が5名おり、全体の人数を考慮する

中で、次年度は4名の募集となった。

○日程第4 報告第11号 専決事項の報告について

[説明] 本報告は、宇治市教育委員会事務委任等に関する規則第4条第1項第3号の規定により、9月7日付退職に伴う府費負担教職員の管理職以外の任免について、京都府教育委員会に内申するため専決処分を行い、同規則第4条第2項の規定により報告を行うものである。

[質疑] なし

[討論] なし

閉会宣言 委員長が9月教育委員会定例会の閉会を宣言する。

閉 会 (午後5時51分)